

Science and Technology English I II

STE Vision      Meiji University 2021

Vision\_21.pptx 18 Slides March 26<sup>th</sup>, 2021

---

<http://mikami.a.la9.jp/mdc/mdc1.htm>

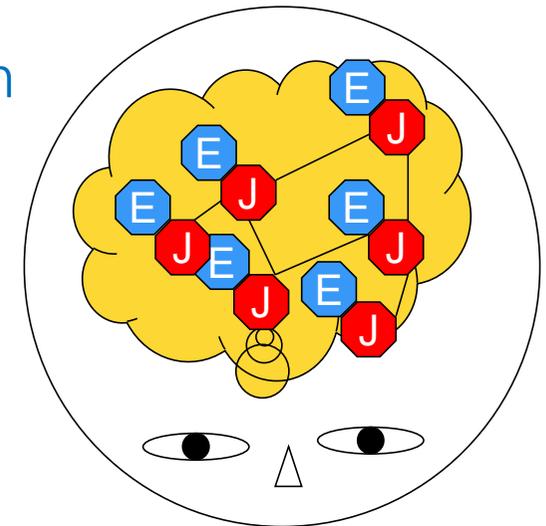
Renji Mikami

Renji\_Mikami(at\_mark)nifty.com [mikami(at\_mark)meiji.ac.jp]

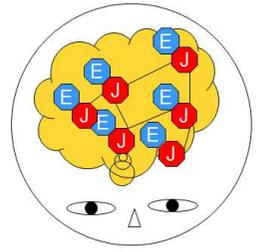
# Contents

- 1. 英語に対して苦手意識のある人へ
- 2. 英語コミュニケーションの始めかた
- 3. 状況によって意味が変わる英語
- 4. 仕事や技術の実務的な英語とは - 4 つの Domain
- 5. 英文をそのまま理解
- 6. Inbound と Outbound
- 7. レポート課題の”要約”の採点ポイント

このマークは  
“Brain”で  
解説します



# 1. 英語に対して苦手意識のある人へ



- 苦手意識が働くと”**脳**ブロック”が起こる > “**Brain**”で解説します
- 慣れること – **リラックス**して、身構えない
  - 読んでわからないところは、受け流して次に進む(止まらない)
  - **もういちど**読んでみる、時間をおいて**繰り返す**
- 話し言葉と書き言葉の違いを意識する
- 英文をそのまま(英語のまま)理解することを意識しよう
  - **状況のイメージ**を作る(日本語に訳さなくていい)
- **実戦的に使う**ことで英語は上達する。(Plan-**Do**-See)
- **反復**はさらに効果的。 > **Brain** で解説します

## 2. 英語コミュニケーションの始めかた

- 多国籍、多様な文化の人たちが“英語”を使って思いを伝え合う。それぞれの違った常識や習慣があり、お互いに分からない/知らないのが当たり前、空気読んで合わせる必要もない。Fluent である必要もない。
- **Hesitateしない**、わかったふりをしない(知らないことは恥でも失礼でもない。わかったふりは最悪)
- 分からないことはわかるまで**聞き返す**、わかったら確認する
  - You mean + 自分の言葉での反復
- 聞き返しても失礼にあたらなない。
  - 教養ある人は言葉を選んでわかるように話してくれる
- 相手は、こちらのレベルに合わせて話してくれる。
  - 何故なら話す側は相手に伝えることを目的にしているから(共感, 納得)
- 流暢で上手な発音で話せると困ることもある。
  - 通じると思われてくれた英語でまくしたてられるとギブアップ

### 3. 状況によって意味が変わる英語

- *I was born to love you.* を訳してみよう
- 学校(受験)英語では Freddie Mercury (QUEEN) は出てこない
- 文法的には、to infinitive の扱い
- 英語を楽しく深読みしてみる
  - Was born = 生まれた?
  - You は誰
  - Freddie Mercury が言ったら
- 文意は状況(situation)によって変わる



画像引用 YouTube

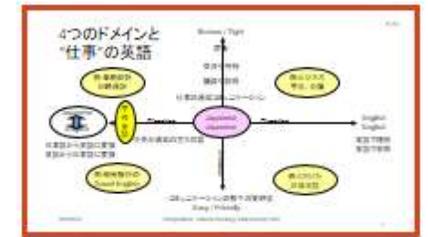
# 学校英語と実務英語

- 学校英語の目的
  - 建前：基礎を身につける
  - 実際：受験を突破する
  - **試験基準**のバイアス：教員一般が採点できること、**答えが確定的**であること  
(**つまらないドジの減点**はだれにもわかる)、**真の語学力**(コミュニケーション力)の評価は困難：HP資料 英語四技能Inbound / Outbound で解説します。
- 受験が終わり次の目的は
  - 就職試験？
- 実務は一発勝負(試験)ではない
  - 成果の積み上げ
  - 試験と違って、あらゆる応用の連発
  - 対応力、適応力をつける、**脳**の力が試される

脳の力のつけ方に関しては、  
HP資料 Brain で解説します。

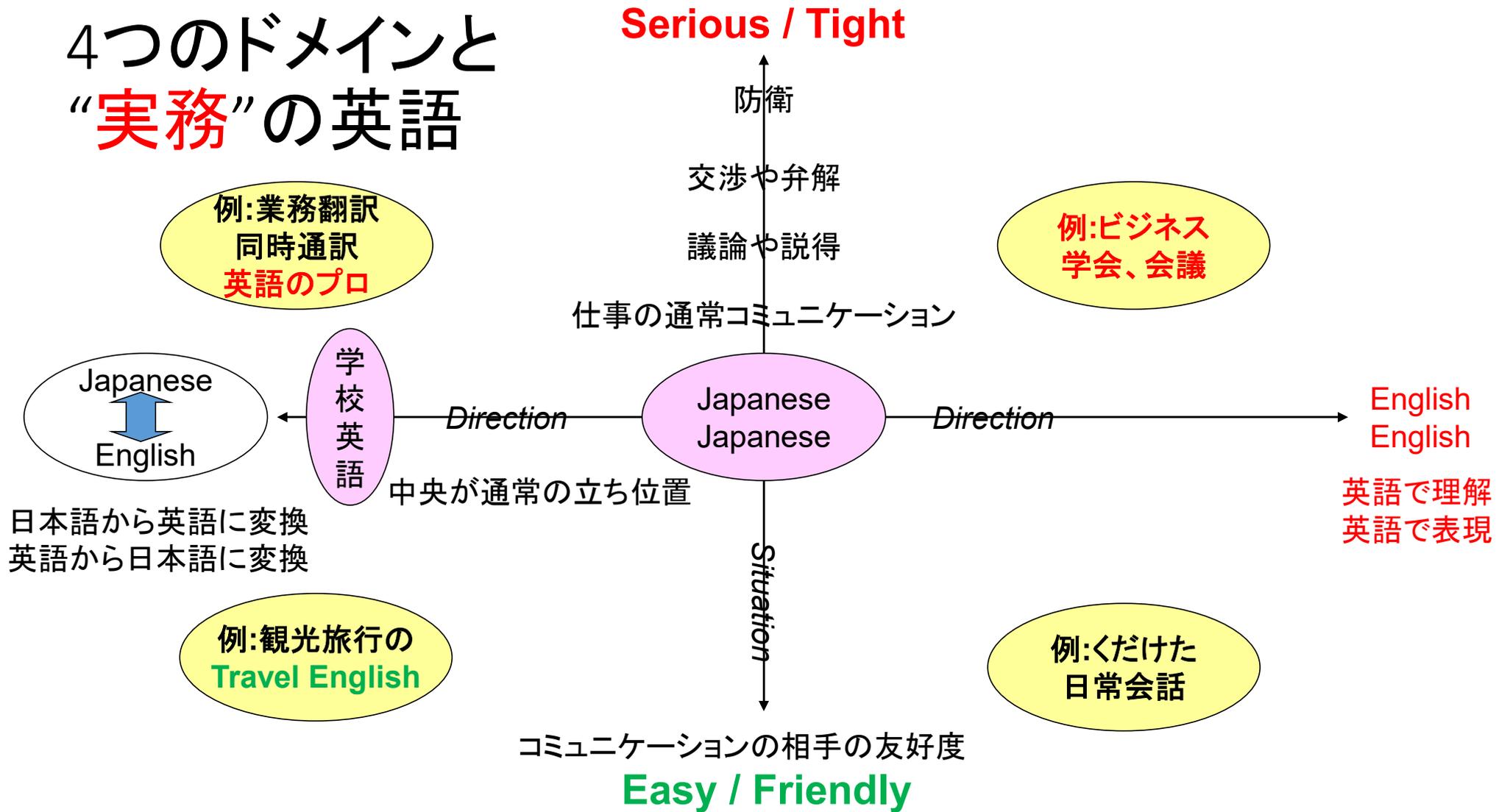
## 4.仕事や技術の実務の英語とは - 4つのDomain

- 英語コミュニケーションを状況に応じて考えてみる
- 2軸(Y軸)状況のシビアさ(緩:ゲーム 中:仕事 高:交渉 急:生命 など)
- 1軸(X軸)正方向(無変換:英語<->英語), 負方向(変換:英語<->日本語)
- 非母国語の人には、1象限が難しい
- 4つのドメインと“仕事/実務”の英語
- 目指すところは、1象限 (Native like)
  - 英文をそのまま理解して“内容”のイメージを作る
  - イメージに使う単語は英語そのままよい
  - 例: 1947年 first pointcontact transistor が invent された
- “Study”では、実務の Inbound/Outbound を解説します



逐次 日本語に  
精訳しない  
(受験英語からの  
グレードアップ)

# 4つのドメインと “実務”の英語



# 目標ドメイン

**Serious / Tight**

英語で戦う

英語で稼ぐ

ロジックと  
数字

Target Area  
実務の英語

英語で理解  
英語で考える

English  
English

防衛

交渉や弁解

議論や説得

仕事の通常コミュニケーション

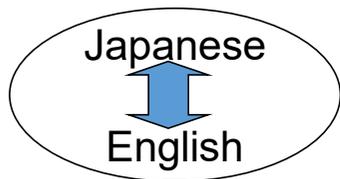
Japanese  
Japanese

Situation

コミュニケーションの相手の友好度

**Easy / Friendly**

英語の専門家の英語  
英語のプロの世界



受験の英語

Direction

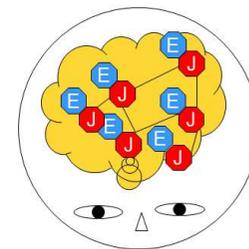
Direction

Japanese  
Japanese

Inboundができれば、  
Outboundを目標に  
("Study" で解説します)

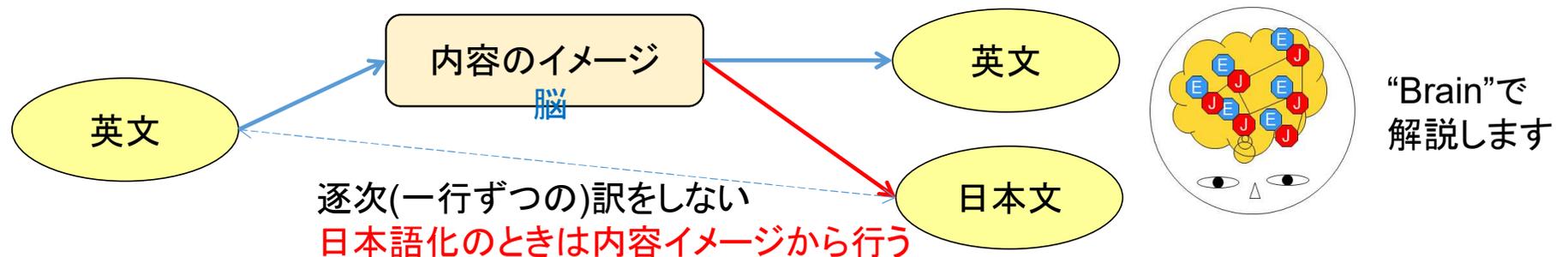
## 5. 学校英語的日本語訳をしているケース

- 英単語に対応する日本語訳を理解(一対一対応で暗記)している
- 英文を英単語に分解してそれぞれに日本語を割り当てる
- 文法をもとに日本語訳をくみ上げる
- **それらしい日本文は出来上がるが、その内容はよくわからない。**
- テストでは点数を稼げるが、内容がわからなければ仕事(実務)では役にたたない
- そもそも英単語に日本語訳を割り当てて、日本語で内容を理解しようとしていることに無理がある。(そもそも**単語や英語は状況によって意味が違ってくる。**)この方法では、とても時間がかかり、仕事にならない。
- 英単語と英文をそのまま状況イメージとして脳に作り出そう。
- 状況イメージができれば、そこから脳力で意味や内容を類推できる。



# 英文をそのまま理解することを目標にしよう

- テクニカル タームを無理に日本語に訳さなくてもよい
- 英語のニュアンスを正確に伝える日本語がなければ、英単語のままでよい
- 英文パラグラフをそのまま理解し、英語のままで考え英語でまとめる  
英単語や文単位で日本語に訳し、日本語で考えてそれをまた再英訳しない



- 60～70%程度のアバウトな内容理解でよい。全文を素早く通読、不明単語は英語のままでよい。仕事-わからないところは聞けばよい。
- 慣れてくると、まわりの英文から不明単語の意味を類推できるようになる

## 6. Inbound と Outbound

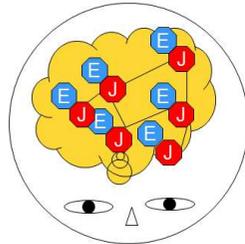
- 英語4技能の実戦的な違いを意識していこう
  - **Inbound : Reading / Listening** (自分の理解度は相手にはわからない)
  - **Outbound : Writing / Speaking** (自分は相手に的確に内容を伝えなければならない)
- 
- 状況によって使う英語が違うことを意識しよう
  - 話し言葉 Listening / Speaking (消えていく)
    - Speakingでも **Presentation** は別格
  - 書き言葉 Reading / **Writing** (記録として残る)

ゆるくてもいいものと  
**シビア**なものを分類しよう  
量と的確さの関係を考えよう  
詳細は“Study”で解説します

# 7.授業の課題”要約”の採点ポイント

- 1.正確に英文和訳できているかは重要ではない(学校英語とは違う)
- 2.英文パラグラフの大意をイメージとして捉えているかを見ている
- 3.キーワードやキーセンテンスを捉えているかを見ている

Inbound



Outbound

- 4.理解した英語内容イメージを”要約”として日本語に書き出したものから、2,3の力を読み解いている(英訳力ではなく、英文そのままの理解とそのイメージから自分の言葉で日本語に書き出す(作文)力を見ている。(英文で書く場合は英作文力を見ている。英語で理解して英語で書きだす、日本語が間に入らない-**注意: 英作文力は文法力だけではない-論理的展開力が重要)**)

## 8.1 実務の現場

### • 技術打合せ

- 最も難しい英語のシチュエーション: 多人数の電話会議
- 顔の見えない相手が日常英語で、インタラクティブに会話、同時ガヤガヤに話す
- 順序だってない、ロジカルでない、ジャンプ、脱線、ジョーク、まとめがあるとは限らない
- 内容の10%くらいしかわからない
- 理解した内容の検証はどうする
- あなたならどうする

## 8.2 実務の現場 E-mail

- 48Hルール:普通は、48時間以内に返信
- ハイテクベンチャー Proposal (業務提案)例
- 関係部門に提案して48H以内に異議がなければ、進めてよろしい
- Manager クラス Mail
  - 1日1,000本ザラ 1本30秒で処理しても 8H かかる
  - 残業しない(ように振る舞う)定時で終えてディナーやパーティーへ
- 短いメール I が小文字 i, TKS, RGDS, FYI

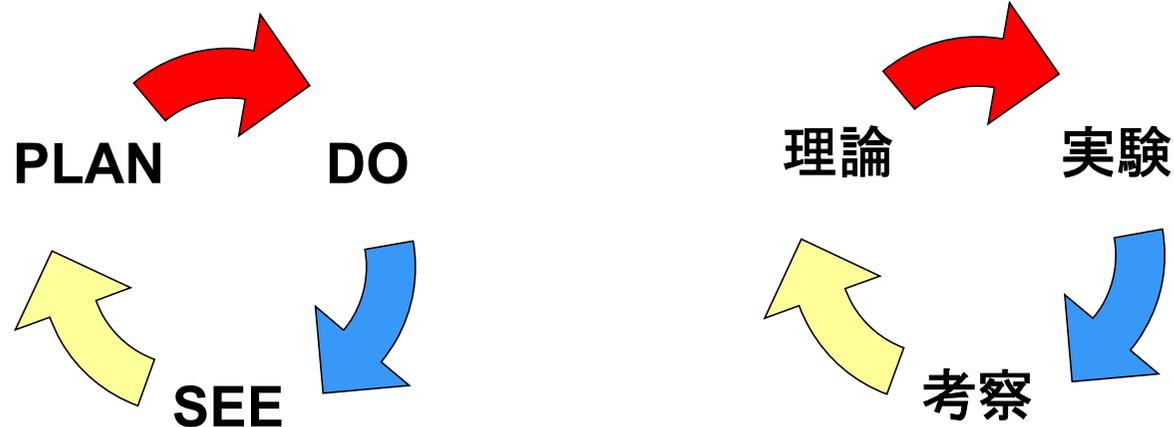
ではどうするか(ジョーク)

- 貝になる
- 外人のこない田舎にこもる
- 世界征服して母国語を世界標準にする
  
- 科学技術英語を履修する(爆)

睡魔防止スライドです

# Brain ^

- 脳の機能面を理解、科学的に考察しよう
- 実務の世界では、PLAN -> DO -> SEE サイクルが実行されます



- これは反復サイクルです

# Memo

フォローアップURL (Revised)

<http://mikami.a.la9.jp/meiji/MEIJI.htm>

担当講師

三上廉司(みかみれんじ)

Renji\_Mikami(at\_mark)nifty.com

mikami(at\_mark)meiji.ac.jp (Alternative)

[http://mikami.a.la9.jp/\\_edu.htm](http://mikami.a.la9.jp/_edu.htm)

